

平成 27 年 10 月 吉日

瀬戸内町長 鎌田愛人 殿

古仁屋高校同窓会

## 嘆願書

私たちは瀬戸内町の最高学府、県立古仁屋高校の永久の発展を願っておりますが、残念ながら入学者数の減少で存続が危ぶまれているという実情を認識しております。

そこで同窓会の連合としてつぎの改善点を挙げ「海洋学科」の開設を強く望んでおりますので何卒宜しく願い申し上げます。

- ① 奄美の他高校にない魅力ある唯一の学科を設け、入学者の全体数を多くする。  
瀬戸内町以外の地域（奄美市、宇検村、竜郷村、徳之島、与論、喜界など）や全国からの応募を可能にする。
- ② 海洋に関する分野は広いので魅力ある学科として位置づける。
  - ・水産の養殖業、観光業、レジャー業など選択肢が広がる。正に地元産業の密着型教育機関として存在し、地場産業に貢献すると共に町の人口減少を抑える。
- ③ 「海洋学科」を開設することにより、選択肢が広がり、他校への入学者流出を抑える。
  - ・現在の「普通科」だけでは限られた選択肢しかなく瀬戸内町中学卒業生の約 5 割が奄美市の高校へ入学しているのでこれを抑える効果がある。
- ④ 現在の留学制度が生かせる  
現在の古仁屋高校への留学に対する応募が全国レベルでかけやすい。（5 万円の補助）  
以上のように現在の問題点を改善しつつ、卒業後の将来も見据えたか「海洋学科」の設置を取り上げて頂きたく切にお願い申し上げます。尚、上記は各方面の同窓会会長と話し合った内容であり、各用紙に代表である会長が署名したものを本部校同窓会会長が取り纏め、お渡し致しますので何卒宜しく願い申し上げます。

◇同 窓 会 名

---

◇ 会 長 名

---

◇住 所

---